

## 「腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンク」及び「腐食のおそれが高い地下貯蔵タンク」の区分表

### ○腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンク

* 設置年数	塗覆装の種類	* 設計板厚
設置年数が50年以上のもの	アスファルト（告示第4条の48第1項第2号に定めるもの。以下同じ。）	全ての設計板厚
	モルタル（告示第4条の48第1項第1号にさだめるもの。以下同じ。）	8. 0mm未満
	エポキシ樹脂又はタールエポキシ樹脂（告示第4条の48第1項第3号に定めるもの。以下同じ。）	6. 0mm未満
	強化プラスチック（告示第4条の48第1項第4号に定めるもの。以下同じ。）	4. 5mm未満
設置年数が40年以上50年未満のもの	アスファルト	4. 5mm未満

### ○腐食のおそれが高い地下貯蔵タンク

* 設置年数	塗覆装の種類	* 設計板厚
設置年数が50年以上のもの	モルタル	8. 0mm以上
	エポキシ樹脂又はタールエポキシ樹脂	6. 0mm以上
	強化プラスチック	4. 5mm以上 12. 0mm未満
設置年数が40年以上50年未満のもの	アスファルト	4. 5mm以上
	モルタル	6. 0mm未満
	エポキシ樹脂又はタールエポキシ樹脂	4. 5mm未満
	強化プラスチック	4. 5mm未満
設置年数が30年以上40年未満のもの	アスファルト	6. 0mm未満
	モルタル	4. 5mm未満
設置年数が20年以上30年未満のもの	アスファルト	4. 5mm未満

\* 設置年数・・・当該地下貯蔵タンクの設置時の許可に係る完成検査済証の交付年月日を起算日とした年数をいいます。

\* 設計板厚・・・当該地下貯蔵タンクの設置時の板厚をいいます。

## 地下貯蔵タンクの流出防止対策に関するフロー図

鋼製一重殻地下貯蔵タンク（地盤面下に直接埋設されたタンク）

地下タンクの仕様等（埋設年数、塗覆装の種類、板厚）による腐食のおそれを評価

腐食のおそれが特に高いタンク  
（要件は、「腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンクの区分表」を参照）

- (1) 内面ライニング
  - (2) 電気防食
- (1)又は(2)のいずれかの措置を実施

腐食のおそれが高いタンク  
（要件は、「腐食のおそれが高い地下貯蔵タンクの区分表」を参照）

- (1) 内面ライニング
  - (2) 電気防食
  - (3) 危険物の微小な漏れを検知するための設備
- (1), (2)又は(3)のいずれかの措置を実施

それ以外のタンク

現在の基準どおり

**内面ライニング**：地下貯蔵タンクの内面の腐食を防止するため、タンクの内面全体にガラス繊維強化プラスチックライニングを2.0mm以上の厚さに被覆するもので、地下貯蔵タンクが埋設されたままの状況で施工できるもの。

**電気防食**：地下貯蔵タンクの周囲に電極を埋める等を行うことにより、地下に埋設されたタンクへ外部から直流電流を流し、腐食の進行を防止するもの。

**危険物の微小な漏れを検知するための設備**：直径0.3mm以下の開口部からの危険物の漏れを常時検知することができる設備のことであり、具体的には、埋設された地下貯蔵タンクに貯蔵されている危険物の液面を常に計測して、危険物の液面の変化を検知し、警報を発するシステム（高精度液面計）など。